

市の教育条件の整備を

藤島小学校教育振興懇談会

藤島小学校教育振興懇談会が18日、藤島公民館で開かれ、学校関係者の他に歴代のPTA会長や同窓会長、町内会長や公民館長、そして藤島地域選出の市議会議員らが出席しました。

懇談では藤島小学校の現状について小杉隆校長から報告され、児童の様子について各担任から話題が出され懇談しました。

地域連携事業

藤島小学校は学習を通じた地域連携事業にも力を入れ、公民館との連携では4年生が大豆の栽培で藤島公民館と、6年生がグラウンドゴルフ交流会を八栄島公民館とおこなっています。

2年生は因幡堰土地改良区と親水地域での生き物調べ、5年生は農家やつや姫会、まちづくり塾のメンバーと

稲作り、3年生は庄内農業高校生と畑作実習などに取り組みました。地域の人たちとの交流では、「すずかけ訪問」と称して、こりす保育園やいなば幼稚園、ふじの花荘等へ訪問し、歌や劇などの発表や交流、清掃等のお手伝いなどに取り組みました。

ふじしま音楽祭や敬老会、夏祭り地域行事などの地域行事へも参加しています。

学校教育支援員

市に対する教育条件の整備要望では、

①支援の必要な児童が30数名、さまざまな家庭の事情を抱えた児童も20数名という実情の中で、現在1人配置

されている学校教育支援員の配置・充実が不可欠。

難聴児童のための子どもサポーターも1人配置され、継続が必要。図書職員の配置の継続。

②学校技能士の2人配置の継続。

複数配置によって広大なグラウンド整備・除草ができ、年数の経ったうさぎ小屋、百葉箱、遊具等も修繕によって再利用できた。

③スクールバスの運行継続。夏期休業中のプール利用にも運行の継続。

④計画的な学校の施設・設備の修繕や整備

懇談では、地域庁舎から教育分室がなくなつて以降、施設の修繕要望や通学路の防犯灯の球切れ等に即対応できている問題などが話題にされました。

ザツケローニ・佐々木両監督の話

—「しんぶん赤旗」を読んで 青山 崇

新年明けましておめでとございませう。今

年もよろしくお願います。新年に当たって心温まる話をお届けします。しんぶん赤旗12月19日付スポーツ欄「フェアプレーの風」である。14日佐々木監督、15日ザツケローニ監督のトクショーの記事である。

「人もボールも、心も動かすサッカーを目指す」という佐々木監督のチームづくりは「選手主導」である。従来の「コーチ主導」

を08年北京五輪から改めて取り組んだという。最初はうまくいかなかったが、選手の自主性が高まり、想像以上に集団的な絆や知性が高まったという。その圧巻はW杯優勝の時の宮間あや選手の心遣いである。日本の歓喜の輪に加わらず、落胆する米国選手を一人で慰めて歩いていった。これを見て次のキャプテンを彼女に決めたということである。



メメクッタ

「どうだ、メメクッタロ」、「ウン、メメクッタ」。かつての職場の昼休みの将棋での風景だ。メメクッタは私が入学前の遊びの言葉で何十年ぶりかで聞くものだったが、もうどうしようもないという時の言葉だ。

▼これを猪瀬で思い出したのだ。素人将棋では、どうしようもなくなつてメメクッタだが、プロではなぜここで負けを宣うのかと思うところで決着している。

▼都知事だつて5千万円を貰った(当人は借りたと言ってるが)時にメメクッタのだ。でなくても借用書を誰から受け取ったかを言い換えた時、先は見えていたのだが。

▼そこで諦めればあんなに苦しまずに済んだろうに。しかし、耳から脂汗がシタタルのは初めて見たネー。そうしてまでも権力の座は

日本文化が大好きなザツケローニ監督も同じことを言っている。「日本人の持つ、行き届いたしつけ、他者への尊敬、スポーツマンシップの尊重という美德は本当に誇るべきものです。誰に何と言われようと持ち続けた方がいいのです」。

見せてほしいです。力強いたたかいと日本サッカーの美しい“心”を。

イダマシカッタのだ。▼日本共産党都議団は始めから百条委員会を提案していたのだが、アーだコーだにゴーク煮やしてやつと設けることにした。

▼再び追求されればどうしても逃げ切れないということとで辞任を申し出たようだが、不思議じゃないですか。

▼百条委員会が具体的にいつアッチコチの有力者が口入れをしたとのニュースだ。ここで口入れをした方は、これまでナントカなると見ていたことになる。

▼都民も国民もなめられたもんじゃありませんか。いわゆる大物と言われる者は選挙民をナメているということだ。▼しかし本人も言っていたつけ。説明が下手で納得して貰うことができなかった。私の不徳の致すところですよ。▼ジョーダン言えっだ。テメーが5千万円を手にしたのが不徳と言うもんでしょ。ねーみんな。(石川)

フェアプレーの風
—男女のサッカー代表監督講演—

2人の指導にある人間性

しんぶん赤旗12月19日付け